

2018 年度立命館大学学友会緊急学生アンケート
集 計 結 果 報 告 書

2018 年 8 月
立 命 館 大 学 学 友 会 中 央 常 任 委 員 会



立 命 館 大 学 学 友 会

報告書目次

第1章 アンケート概要	2
実施概要	2
第2章 集計結果総括	2
アンケート回答数	2
第3章 設問別集計結果	4
セクション1 ：基本情報入力	4
回答者性質分析用設問	4
セクション2 ：正課授業の休講・補講について	4
休講連絡の一次情報源	4
休講ルール、連絡に対する評価	7
休講ルール、連絡における現状の課題・実情	9
補講に対する印象	13
セクション3 ；manaba+R について	13
日常の利用頻度	13
利用目的と利用上の不満	14
セクション4 ：キャンパス環境について	16
キャンパス環境の問題の優先事項	16
禁煙政策とその印象	17
BBP の活用	20
食環境	20
駐輪場	22
自習スペース	25
その他（自由記述欄）	26
第4章 （参考）質問文一覧	28
アンケート本文	28

※この報告書は、2018年7月現在の情報を基に作成している

第1章 アンケート概要

実施概要

調査内容・目的

学部生の大学生生活の実態を把握し、大学への要求実現運動に向けた意見集約

実施期間

2018年7月16日（月）～2018年7月23日（月） 計8日間

実施手法

LINE・Twitter等のSNSを通じてフォームリンクを共有

対象者

立命館大学部生（但しアンケートは全て日本語で実施）

管理部署

立命館大学学友会中央常任委員会・立命館大学学友会中央事務局

第2章 集計結果総括

アンケート回答数

有効投票数 3118件（合計集計率：9.56%）

無効投票数 18件（Q1における属性不備もしくは重複エラー）

回答者属性

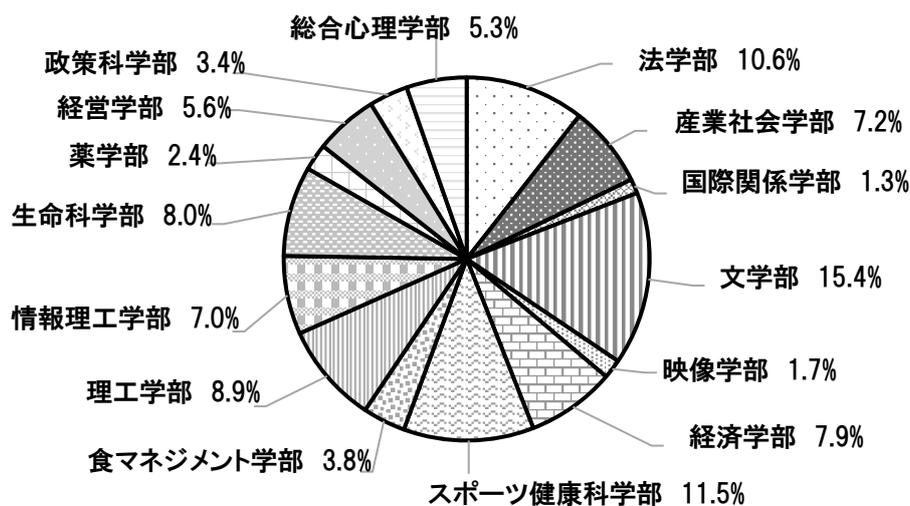


図1 回答者所属学部比率

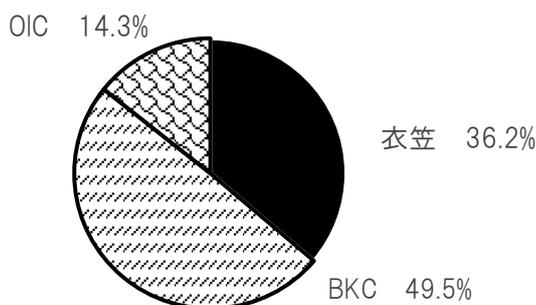


図2 回答者所属キャンパス比率

学部・回生別投票数 (総計)

表 1 学部・回生別投票数及び投票率

学部名	1回生		2回生		3回生		4回生		5回生以上		
法学部	125	17.3%	79	10.6%	52	6.3%	69	7.7%	4	1.2%	
産業社会学部	69	8.1%	81	8.4%	51	5.4%	24	2.5%	1	0.6%	
国際関係学部	6	2.1%	12	3.1%	16	4.6%	6	1.8%	0		
文学部	249	28.6%	86	8.9%	105	10.1%	37	3.1%	4	1.6%	
映像学部	16	9.5%	11	6.6%	23	15.1%	3	1.7%	0		
経済学部	107	15.8%	54	6.2%	40	4.8%	42	5.5%	2	1.1%	
スポーツ健康科学部	126	54.5%	98	40.7%	95	39.3%	38	16.5%	2	5.3%	
食マネジメント学部	118	33.2%									
理工学部	126	15.1%	732	7.9%	52	5.0%	25	2.7%	3	1.4%	
情報理工学部	80	19.0%	64	11.7%	45	9.9%	27	5.8%	2	1.4%	
生命科学部	90	28.9%	90	27.5%	25	8.8%	45	16.7%	0		
薬学部	5	3.5%	21	9.3%	20	14.8%	27	22.9%	1	0.5%	
経営学部	86	12.7%	39	4.4%	31	3.6%	16	1.8%	2	1.1%	
政策科学部	36	9.3%	34	8.2%	17	4.3%	20	5.0%	0		
総合心理学部	87	28.7%	46	15.3%	33	10.6%					
合計	1326	18.6%	787	10.0%	605	7.7%	379	5.0%	21	1.1%	

※左列：回答数 右列：回答率 (回答数/学生数)

表 2 学部・キャンパス別投票数及び投票率

学部名	全回生合計		キャンパス別合計	
法学部	329	9.3%	1129	8.1%
産業社会学部	226	5.8%		
国際関係学部	40	2.9%		
文学部	481	11.1%		
映像学部	53	7.6%		
経済学部	245	7.4%	1542	12.2%
スポーツ健康科学部	359	36.5%		
食マネジメント学部	118	33.2%		
理工学部	278	7.1%		
情報理工学部	218	10.8%		
生命科学部	250	20.2%		
薬学部	74	8.9%	447	7.4%
経営学部	174	5.0%		
政策科学部	107	6.5%		
総合心理学部	166	18.1%		

※左列：回答数 右列：回答率 (回答数/学生数)

第3章 設問別集計結果

セクション1：基本情報入力

回答者性質分析用設問

《質問概要》

Q1-1：学生証番号上6桁の入力

Q1-2：所属学部入力

Q1-3：所属回生入力

《回答集計結果》

回答集計結果は第2章記載の通りである。表2にある通り、学生全体の回答率で見れば、BKC所属学生の回答率は12.2%で、衣笠所属学生の8.1%と極端な差があるわけではないが、図2にある通り、回答全体の約50%がBKC所属の学生となってしまった。なお、Q1-1の学生証番号上6桁の入力は正確にできていない人が一定数いたが、明らかな不備でない限りは有効投票として扱った。

セクション2：正課授業の休講・補講について

休講連絡の一次情報源

《質問概要》

Q2-1：6/18 大阪北部地震による休講連絡の第一情報源

Q2-2：7/5 豪雨による5限以降の休講連絡の第一情報源

Q2-3：7/6 豪雨による休講連絡の第一情報源

Q2-4：災害以外の休講連絡の情報源

《回答集計結果》

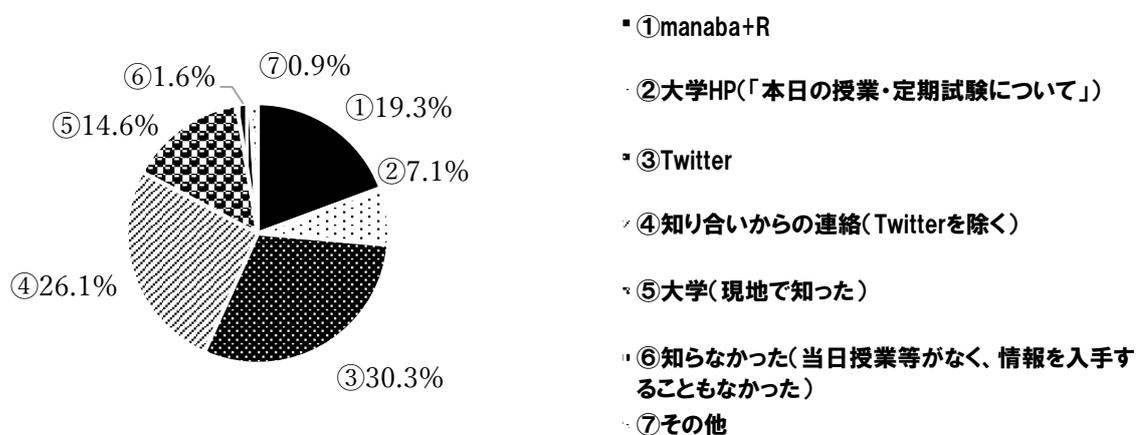


図3 Q2-1：大阪北部地震における休講連絡の第一情報源

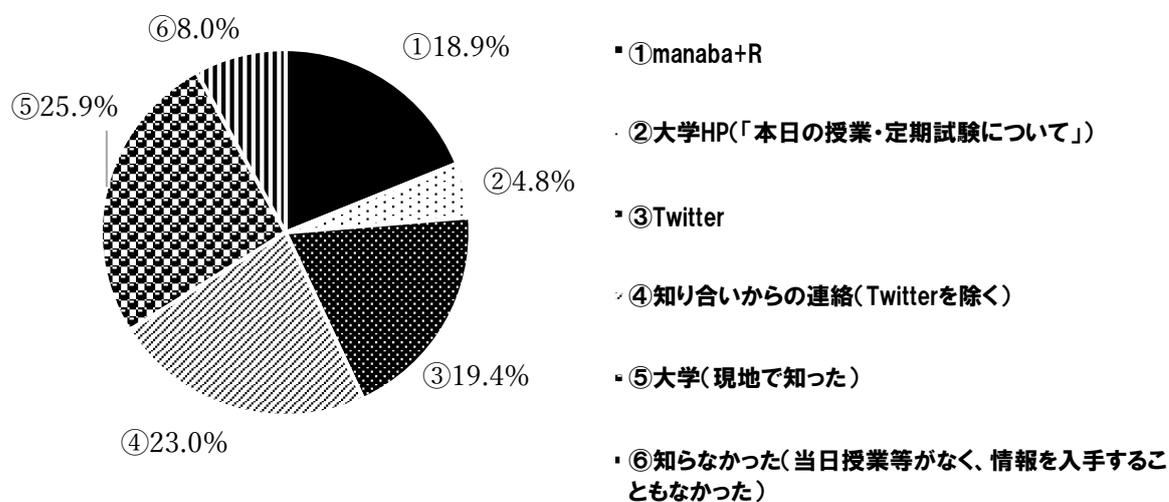


図 4 Q2-2 : 豪雨 (木曜日) における休講連絡の第一情報源

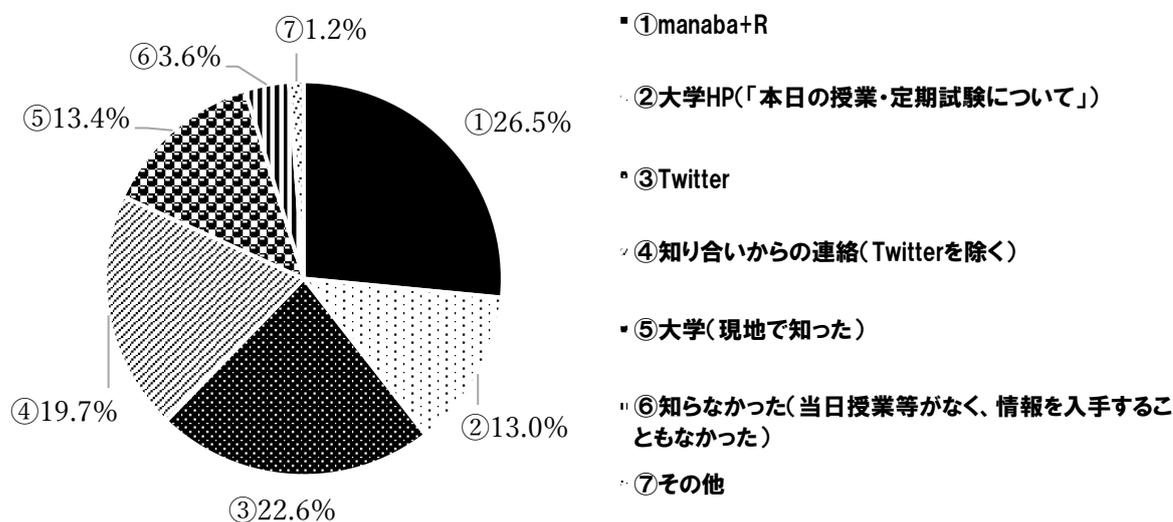


図 5 Q2-3 : 豪雨 (金曜日) における休講連絡の第一情報源

2018年度立命館大学学友会緊急学生アンケート
集計結果報告書

表 3 Q2-1(地震) : キャンパス別回答率

		属性(キャンパス)			合計
		KIC	BKC	OIC	
manaba+R	回答数	194	324	84	602
	%	32.2%	53.8%	14.0%	100.0%
大学HP	回答数	51	143	27	221
	%	23.1%	64.7%	12.2%	100.0%
Twitter	回答数	374	393	177	944
	%	39.6%	41.6%	18.8%	100.0%
知り合いからの連絡	回答数	291	382	142	815
	%	35.7%	46.9%	17.4%	100.0%
大学(現地)	回答数	189	251	15	455
	%	41.5%	55.2%	3.3%	100.0%
知らなかった	回答数	20	31	0	51
	%	39.2%	60.8%	0.0%	100.0%
その他	回答数	1	6	0	7
	%	14.3%	85.7%	0.0%	100.0%
Instagram	回答数	8	3	0	11
	%	72.7%	27.3%	0.0%	100.0%
授業担当者からの連絡	回答数	1	4	1	6
	%	16.7%	66.7%	16.7%	100.0%
自己判断	回答数	0	5	0	5
	%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%
合計	回答数	1129	1542	446	3117
	%	36.2%	49.5%	14.3%	100.0%

表 4 Q2-2(豪雨(木)) : キャンパス別回答率

		属性(キャンパス)			合計
		KIC	BKC	OIC	
manaba+R	回答数	163	341	84	588
	%	27.7%	58.0%	14.3%	100.0%
大学HP	回答数	28	113	9	150
	%	18.7%	75.3%	6.0%	100.0%
Twitter	回答数	263	246	96	605
	%	43.5%	40.7%	15.9%	100.0%
知り合いからの連絡	回答数	271	335	110	716
	%	37.8%	46.8%	15.4%	100.0%
大学(現地)	回答数	293	406	109	808
	%	36.3%	50.2%	13.5%	100.0%
知らなかった	回答数	111	101	38	250
	%	44.4%	40.4%	15.2%	100.0%
合計	回答数	1129	1542	446	3117
	%	36.2%	49.5%	14.3%	100.0%

表 5 Q2-3 (豪雨 (金)) : キャンパス別回答率

		属性(キャンパス)			合計
		KIC	BKC	OIC	
manaba+R	回答数	186	548	93	827
	%	22.5%	66.3%	11.2%	100.0%
大学HP	回答数	62	315	28	405
	%	15.3%	77.8%	6.9%	100.0%
Twitter	回答数	294	326	86	706
	%	41.6%	46.2%	12.2%	100.0%
知り合いからの連絡	回答数	264	268	81	613
	%	43.1%	43.7%	13.2%	100.0%
大学(現地)	回答数	258	26	133	417
	%	61.9%	6.2%	31.9%	100.0%
知らなかった	回答数	48	40	24	112
	%	42.9%	35.7%	21.4%	100.0%
その他	回答数	7	1	0	8
	%	87.5%	12.5%	0.0%	100.0%
Instagram	回答数	3	2	0	5
	%	60.0%	40.0%	0.0%	100.0%
授業担当者からの連絡	回答数	2	3	0	5
	%	40.0%	60.0%	0.0%	100.0%
自己判断	回答数	5	13	1	19
	%	26.3%	68.4%	5.3%	100.0%
合計	回答数	1129	1542	446	3117
	%	36.2%	49.5%	14.3%	100.0%

休講ルール、連絡に対する評価

《質問概要》

Q2-5 : 現行の運用方法に対する問題認識・評価

《回答集計結果》

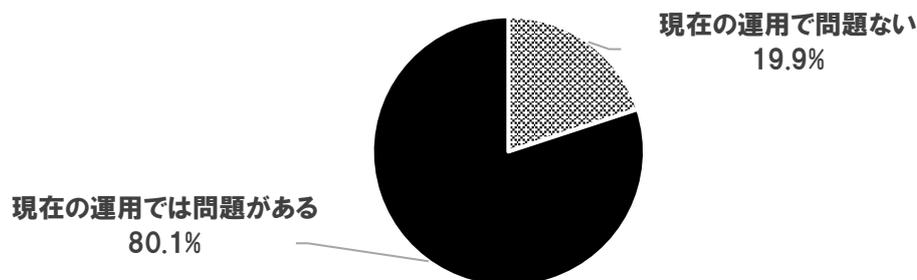


図 6 Q2-5 : 休講に関する運用に対する問題認識

表 6 Q2-5 (休講判断) : キャンパス別回答率

		休講運用		合計
		問題なし	問題あり	
KIC	回答数	66	1063	1129
	%	5.8%	94.2%	100.0%
BKC	回答数	465	1077	1542
	%	30.2%	69.8%	100.0%
OIC	回答数	90	356	446
	%	20.2%	79.8%	100.0%
合計	回答数	621	2496	3117
	%	19.9%	80.1%	100.0%

表 7 Q2-5 (休講判断) : 回生別回答率

		休講運用		合計
		問題なし	問題あり	
1回生	回答数	367	958	1325
	%	27.7%	72.3%	100.0%
2回生	回答数	126	661	787
	%	16.0%	84.0%	100.0%
3回生	回答数	63	542	605
	%	10.4%	89.6%	100.0%
4回生	回答数	61	318	379
	%	16.1%	83.9%	100.0%
5回生以上	回答数	4	17	21
	%	19.0%	81.0%	100.0%
合計	回答数	621	2496	3117
	%	19.9%	80.1%	100.0%

休講ルール、連絡における現状の課題・実情

《質問概要》

Q2-6：休講の運用に問題があると感じる理由

Q2-7：休講の運用における問題点

《回答集計結果》

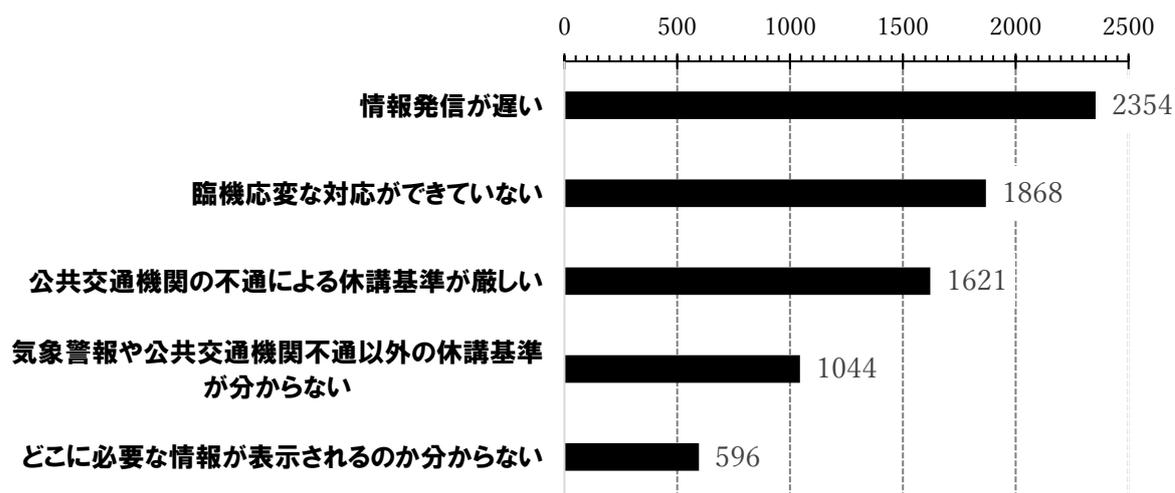


図 7 Q2-7：休校運用における問題点（複数回答可）

まず、Q2-6・Q2-7を通じて、連絡や判断が遅い点を指摘する意見が多く見られた。回答者の中には、2時間以上かけて通学している学生も一定数見られ、決定や連絡があった時点で既に家を出発していることも指摘されている。また、このことに付随して、大学は学生の安全を第一に考えるべきであるという意見が多く見られた。

さらに、豪雨の時などで公共交通機関が見合わせになってからの休講連絡により、俗にいう「帰宅難民」となったり、タクシーなどを利用せざるを得ない学生もいたようだ。大学へ向かうことが困難であることだけでなく、休講連絡後、公共交通機関が動いていない中帰宅することも非常に難しいという意見も多く見られた。

なお、7月6日については、「①避難勧告や避難指示が発令されてもなお授業が継続」されたり、「②JRが間引き運転を前日段階から発表していた」り、「③他の大学では前日段階での休講決定が見られた」中での授業実施（BKCを除く）の決定に対する意見が多く見られた。

<Q2-6>自由記述欄抜粋（回答をそのまま引用）

■判断および発表が遅い

- ・もし講義があると分かっている場合でも電車が遅れてたりしたらその時間に間に合うはずがない。休講などの連絡はもっと早くしてほしい。事務に連絡しても web を見るの一点張りですべて対応してくれなかった。学生に対しての対応をもう少し改善してほしい。
- ・通学に 2 時間以上かかる友人は、交通機関が完全にストップしているのに休講連絡がなく、バスやタクシー等を使って普段より時間や交通費をかけ、ようやく大学にたどり着く直前に休講となり、現在の休講基準や連絡の遅さに憤っていた。

■段階的な休講連絡に対する意見

- ・他大学が一日中休講を決めている中立命館だけ時限単位でちまちま休講連絡してくるのはどうかと思う。
- ・今回のように最初の連絡で「一限目から二限目は休講」、「3 限目以降の判断は 10 時に連絡します」のように段階的にその日の授業がどうなるのかを連絡するようにしてしまうと、身動きが取りづらくなってしまう。特に遠方から通っている人は尚更。なので、一気にその日の授業をどうするのか連絡してほしい。

■manaba+R での連絡に関する意見

- ・6 月 18 日の地震の時→地震発生後、manaba+R をこまめに確認したが、休講の連絡がなかなかアップされず、判断に困った。結局休講の連絡を聞いたのは大学内の放送だった。
- ・地震の際は休講発表が一限開始 10 分前であったと記憶しています。流石に遅すぎると思います。manaba を更新しても全く情報を得ることが出来ず、どうすればいいかわからず混乱していました。そして manaba は回線が混みあってダウンしていたと覚えています。他の連絡手段を開設していただきたいです。（校内放送は学内にいるときにしか聞けないのでいかがなものかと）
- ・大学来てから初めて情報を得たから。manaba よりも早く自治会から情報があつた。本来 manaba が最速であるべきだろう。



■公共交通機関の影響に関する意見

- ・6月の地震はとても大きいものでJRや多くの私鉄がすぐに運転を見合わせたのに、大学からの休講連絡は9時ギリギリだったので遅いと思った。7月の大雨の件については、JRは前日から全線で運転見合わせを発表していたのに、翌日の朝に休講連絡をしたのも納得がいかない。多くの生徒が通学困難になることは分かりきっていたはず。特にJRはどのキャンパスの学生も頻繁に利用する。「本当に授業があるのか」と思いながら大雨の中、警報も出ている状態で学校に来させるのは危険すぎる。もっと学生のことを大事にしてほしい。
- ・今回の大雨の時のように、事前にJRが広域に渡って翌日の運休を発表していたのにも関わらず、7/6の1.2限を強行したのはもはや理解不能である。
- ・遠方から来ている学生への配慮がない。現状衣笠キャンパスは京都に乗り入れている4交通機関のうちいくつかは止まらなると休校措置がとられないが、京都まででてくる道のりが大変である。運行はしているが、本数を減らすことは大変困る。田舎(私は滋賀の湖西線ユーザーだが)の路線は元々通勤ラッシュ時間でも一時間に3本程度しか運行がない上に更に減らされるので人が殺到し乗れないことも多い。さらに、滋賀にすんでいる人から言えばJRが止まってしまえば京都に出る術がないため、休講措置がとられなくても学校に行けない。だが、授業配慮などがないので、毎度焦ります。

■学生の安全に関する意見

- ・京都市は山に囲まれ、立派な川は2つもある。そんな中で、大雨が降ればその後様々な災害に繋がりがやすいことは容易に想像できよう。それにも関わらず、警報を無視するというとんでもない事を大学側は平気です。一体何のために気象庁は警報を発令しているのか、大学当局は今一度考えていただきたい。そして、学生、教職員の命と講義のどちらが大切かを考えていただきたい。
- ・大学の地区に避難指示まで出ているのに授業をする意味を教えてほしい。地震の影響で授業が遅れているのはわかるが、まずは生徒の安全が第一だろう。自宅生からすると大学に着いてから休講となるととても困るし交通機関が止まったりする場合のことも考えてほしい。
- ・遠方の学生は早朝から自宅を離れるため、始業寸前に災害(風雨・地震)を理由に休校連絡を放っても、交通機関が麻痺すると登校はおろか帰宅もできない。車内や屋外で被害に遭う可能性もある

■遠方者からの通学者への配慮に対する意見

- ・自宅生は休講連絡が出される頃には家を出ていることがあり、ただただ身の危険に晒されるだけであったり、大学に着いても、帰る頃には電車が止まっているなどの支障が出ているから。
- ・6月18日の地震の影響で次の日までわたしの住んでいる地域ではずっと余震が続いており、一睡もできなかった。あれだけの地震があり電車も止まり、被害がある中で次の日も当然休講だと思っていたら通常授業で啞然とした。7月の大雨でも5日は5限以降休講連絡をしておきながら次の日通常授業、3限後より休講というわけのわからない判断を下され、6日は1限からだったので大雨の中登校したが自宅から駅までの道の横に川があるため、帰宅時には浸水していて通れず、帰宅が困難であった。

■教員判断による通常授業に対する意見

- ・私の学友は居住地域に避難指示が出ているため学校に行くことができなかったが通常通りに授業が開かれ、テストを受講する事ができず評価に大いなる不平等が生じたと激怒していた。
- ・電車通学の人には大雨の際に通常通りに通学できないにもかかわらず、通常通りに講義をしていることに違和感を感じた
- ・JR琵琶湖線や他のいくつかのJRの線が運転見合わせとなっているのにも関わらず、7月6日は1限から授業があった。私は琵琶湖線を使わなければ通学できないので、その日は1限の授業を受けることができなかった。定期試験も近いので、教授がその日の授業で試験についての説明を行っていたり、試験範囲内の授業を行っていたりしていたそうなので、それではJRで通学している学生は不当な不利益を受けているのではないかと考える。
- ・JRが終日運休を決めていてどう考えても学校に行く手段がないのにBKC以外は休校にならなかった。滋賀県に住んでいるKICとOICの人は単位を落とせということなのか。その日にテストも行われたしテスト範囲が言われた授業もある。

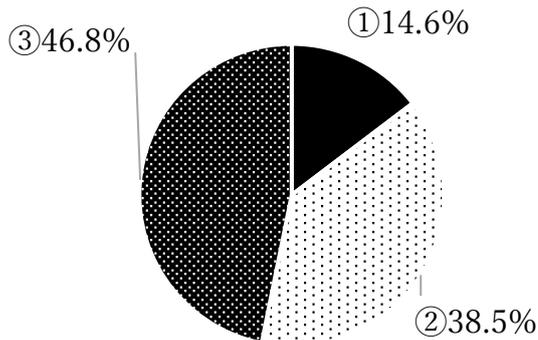


補講に対する印象

《質問概要》

Q2-8：補講に対する印象、位置づけ

《回答集計結果》



▪ ①定期試験日程や長期休暇の期間が変わるとしても、全ての科目において15回の授業が受講ができるようにしてほしい

▪ ②授業担当者の判断によって補講が自主学習に切り替わり、授業で直接は取り扱っていない内容が成績判定に含まれても致し方ない。(ただし、学習方法などは指定している前提)

▪ ③補講自体については、現状のルールで問題ないと考える、もしくは気にしたことがない

図 8 Q2-8：補講の位置づけ

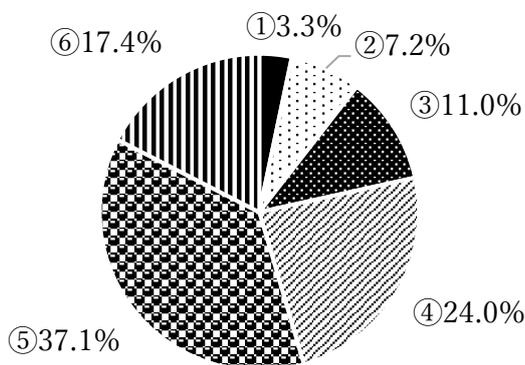
セクション 3；manaba+R について

日常の利用頻度

《質問概要》

Q3-1：manaba+R へのログイン頻度

《回答集計結果》



▪ ①めったにログインしない

▪ ②週1回程度

▪ ③週2回程度

▪ ④週の半分くらいはログインしている(週3~4回)

▪ ⑤ほぼ毎日ログインしている(週5~6回)

▪ ⑥毎日必ずログインしている

図 9 Q3-1：manaba+R ログイン頻度

表 8 Q3-1(manaba+R ログイン頻度) : 回生別回答率

		ログイン頻度					合計	
		めったにしない	週1	週2	週3~4	週5~6		毎日
1回生	回答数	10	40	80	260	604	331	1325
	%	0.8%	3.0%	6.0%	19.6%	45.6%	25.0%	100.0%
2回生	回答数	17	41	90	209	304	126	787
	%	2.2%	5.2%	11.4%	26.6%	38.6%	16.0%	100.0%
3回生	回答数	7	48	86	187	210	67	605
	%	1.2%	7.9%	14.2%	30.9%	34.7%	11.1%	100.0%
4回生	回答数	67	91	85	84	36	16	379
	%	17.7%	24.0%	22.4%	22.2%	9.5%	4.2%	100.0%
5回生以上	回答数	1	4	3	8	2	3	21
	%	4.8%	19.0%	14.3%	38.1%	9.5%	14.3%	100.0%
合計	回答数	102	224	344	748	1156	543	3117
	%	3.3%	7.2%	11.0%	24.0%	37.1%	17.4%	100.0%

利用目的と利用上の不満

《質問概要》

Q3-2 : 日常の利用目的

Q3-3 : 日常利用しているうえでの意見

《回答集計結果》

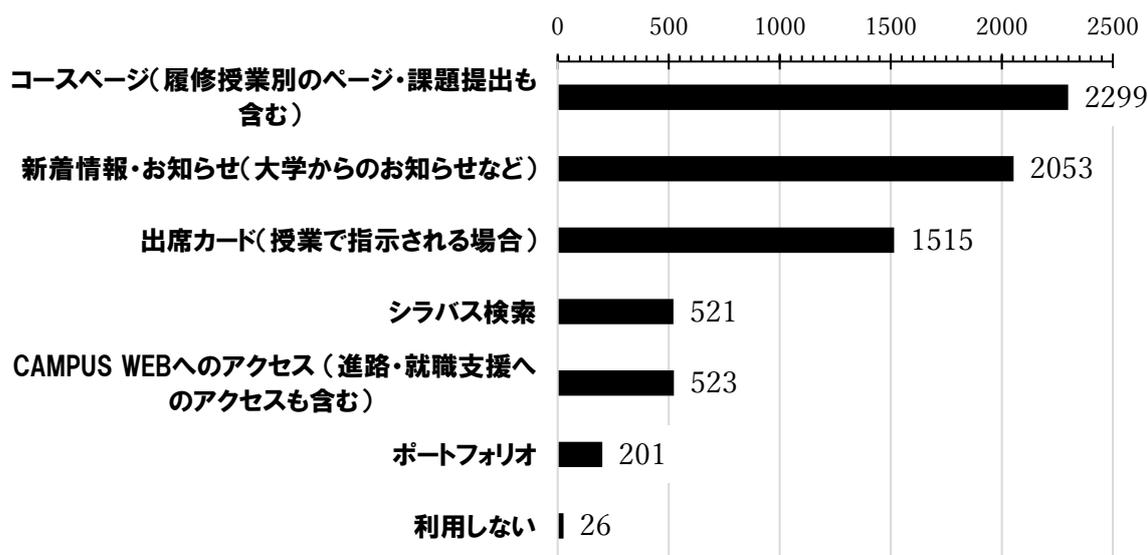


図 10 Q3-2 : manaba+R 利用目的

manaba+R に対する意見としては、連絡通知の分かりにくさについて指摘する意見が多く見られた。特に、休講連絡や教室変更の連絡が見にくくなった点や不必要な連絡の多さを指摘する意見が多く見られた。

少なくともトップページにおいて、重要な連絡なのかどうかを判断するのは困難であり、重要な連絡な場合、メールでの連絡を求める意見も多く見られた。さらに、アプリを開発し、リマインダー機能やポップアップでの通知を行うことで確実な連絡を求める意見も見られた。

正課授業に関わる意見としては、課題の提出が分かりにくいという点やアクセス集中によるサーバーダウンに対する指摘や懸念について書かれている意見が見られた。

上回生から出された意見としては、manaba+R と Campus Web の統合に対するものが多く見られ、全機能を統合すべきという意見と一部機能が統合されたことにより不便となったという意見が見られた。また、双方にサインインしなければならない仕様に対する不満の声も見られた。

<Q3-3>自由記述欄抜粋（回答をそのまま引用）

■複数みられた意見

- ・通知が分かりにくい
- ・アプリがほしい
- ・授業関係と大学関係の連絡を分けて欲しい
- ・大切な情報が埋もれてしまう

■以前の運用(Campus Web)と比較する意見

- ・シラバスで、授業科目群毎に授業が見れなくなったことがすごく不便に感じている。昨年12月にあった manaba+R の変更前のシラバスの表示方法に直して欲しい。

■SSO(Single Sign-On)に関する意見

- ・SSO が canpusweb や office365 で機能せず大変不便であり、single とは到底言えない。
- ・レイアウトが下手。CAMPUS WEB に再度ログインする必要性が分からない。

■ツールとしての利用に関する意見

- ・授業に関係する連絡とそれ以外がログイン後のトップページから一目でわかるように分けられていないのは UI 上の大きな問題だと考えている
- ・UI が極めて悪く、前年度の方が使いやすく感じた。特に、前年度に履修した教科のシラバスを見ることが出来ず、学習に支障が生じている。

■教員による活用

- ・課題の提出やレジュメなど、manaba を使った方が利便性が高い場合は、manaba をもっと積極的に活用してほしい。

■システムに対する意見

- ・コメント機能等で授業中に感想や小レポートなど課題提出を求める授業があるが、Wi-Fi の接続不良などでリロードした場合、文章の復旧ができないことで課題が出せないことが何度かありました。
- ・「お知らせ」にお気に入り用途をつけてほしい。また、お知らせのページは「履修」などのタブページから戻ると、「すべて」のタブページに戻ってしまうので、不便

セクション4：キャンパス環境について

キャンパス環境の問題の優先事項

《質問概要》

Q4-1：特に問題に感じるもの

《回答集計結果》

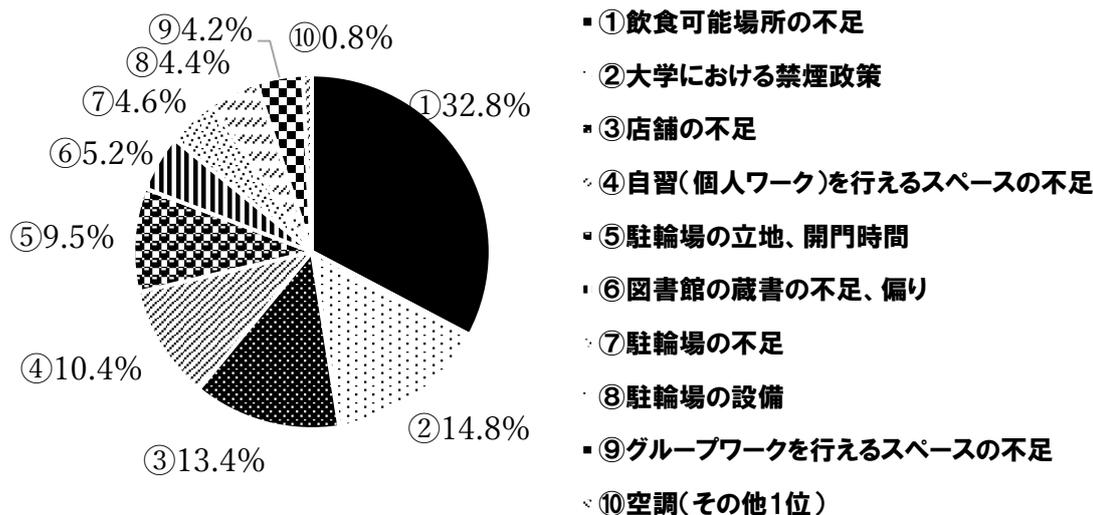


図 11 Q4-1：キャンパス環境（全体）優先事項

表 9 Q4-1(キャンパス環境優先順位)：キャンパス別回答率

	KIC		BKC		OIC	
大学における禁煙政策	237	3	488	2	67	4
飲食可能場所の不足	565	1	864	1	327	1
店舗の不足	272	2	331	4	113	2
駐輪場の不足	76	8	164	6	4	11
駐輪場の設備	61	9	163	7	14	8
駐輪場の立地、開門時間	160	5	335	3	14	8
自習（個人ワーク）を行えるスペースの不足	201	4	252	5	106	3
グループワークを行えるスペースの不足	130	7	78	8	17	7
図書館の蔵書の不足、偏り	158	6	56	9	62	5
空調設備	10	11	7	10	27	6
PC・複合機	11	10	3	11	6	10

※左列：回答数（度数）、右列：順位

禁煙政策とその印象

《質問概要》

Q5-1：受動喫煙の現状認識

Q5-2：卒煙支援エリアに対する印象（数、場所）

Q5-3：大学の取り組みに対する印象

《回答集計結果》

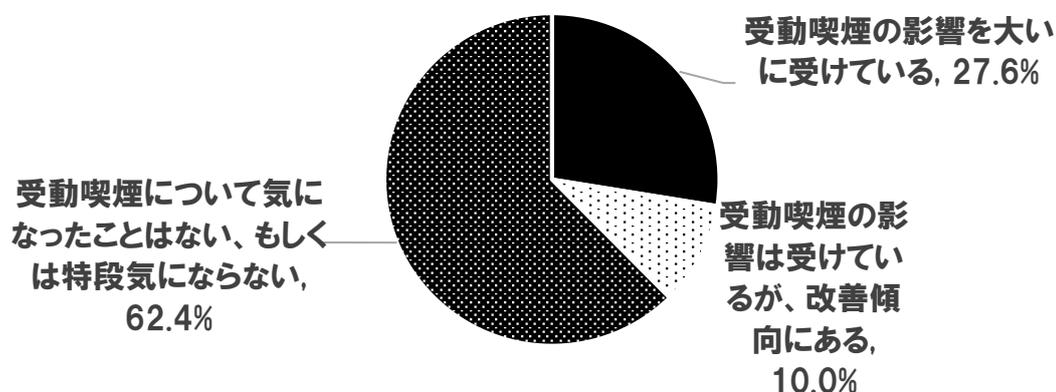


図 12 Q5-1：受動喫煙の現状認識（全体）

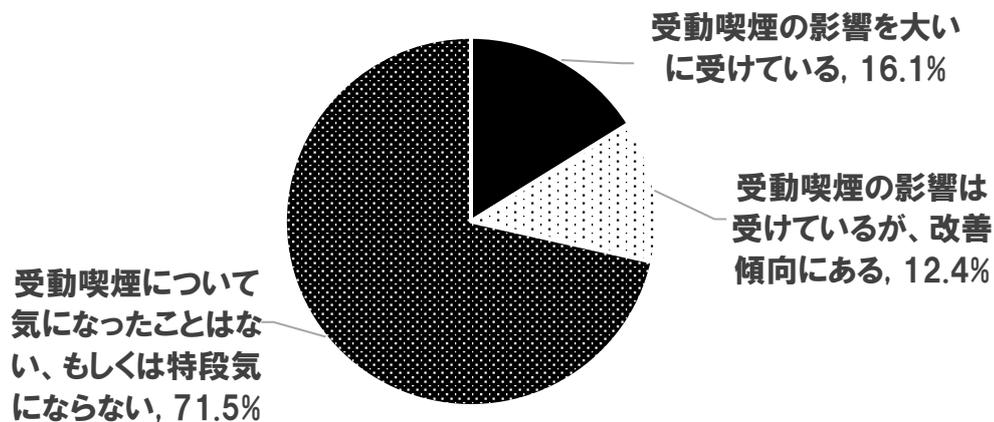


図 13 Q5-1：受動喫煙の現状認識（KIC）

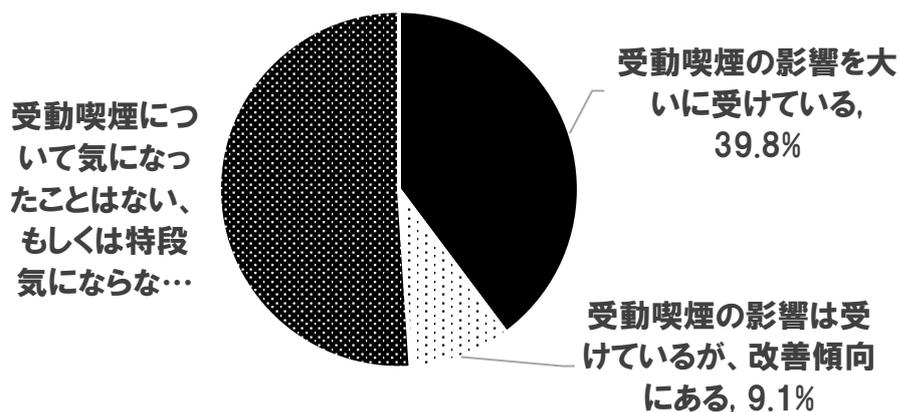


図 14 Q5-1：受動喫煙の現状認識（BKC）

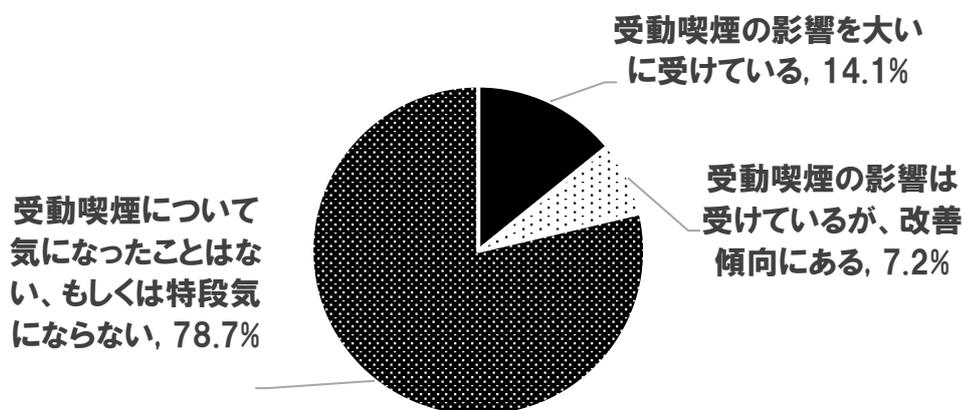


図 15 Q5-1:受動喫煙の現状認識（OIC）

表 10 Q5-2 卒煙支援エリアについて

	KIC		BKC		OIC		合計	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
場所、数適当	128	11.3%	108	7.0%	75	16.8%	311	10.0%
減らしてほしい	147	13.0%	114	7.4%	61	13.7%	322	10.3%
増やしてほしい	34	3.0%	67	4.3%	13	2.9%	114	3.7%
場所を変えてほしい	35	3.1%	22	1.4%	36	8.1%	93	3.0%
喫煙場所がほしい	160	14.2%	232	15.0%	59	13.2%	451	14.5%
知らない	625	55.4%	999	64.8%	202	45.3%	1826	58.6%
合計	1129	100.0%	1542	100.0%	446	100.0%	3117	100.0%

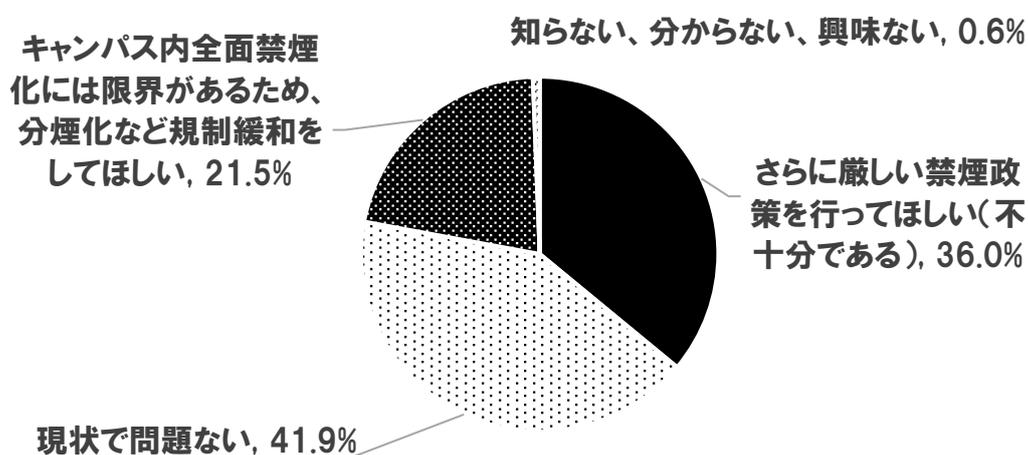


図 16 Q5-3 : 大学の禁煙政策に対する印象

図 16 を見ると、一見大学の取り組みに問題がないようにも見えるが、学生からは様々な意見が寄せられている。その中で一番多かった意見が、現状が中途半端であるという指摘である。キャンパス全面禁煙を掲げている一方で「卒煙支援エリア」という、喫煙を認めているともとれる対応に対する疑問の声や、取り締まるのであれば徹底的に取り締まってほしいという意見が見られた。

一方で、非喫煙者も含め、喫煙する権利を担保すべきという意見も見られたほか、喫煙所を作ることによって、隠れて喫煙したり吸い殻を捨てさせない環境を作してほしいという意見も見られた。

なお、そもそも大学の取り組みについて知らないという意見も数人ではあるが見られた。

BBP の活用

《質問概要》

Q6-1 : BBP の活動目的

《回答集計結果》

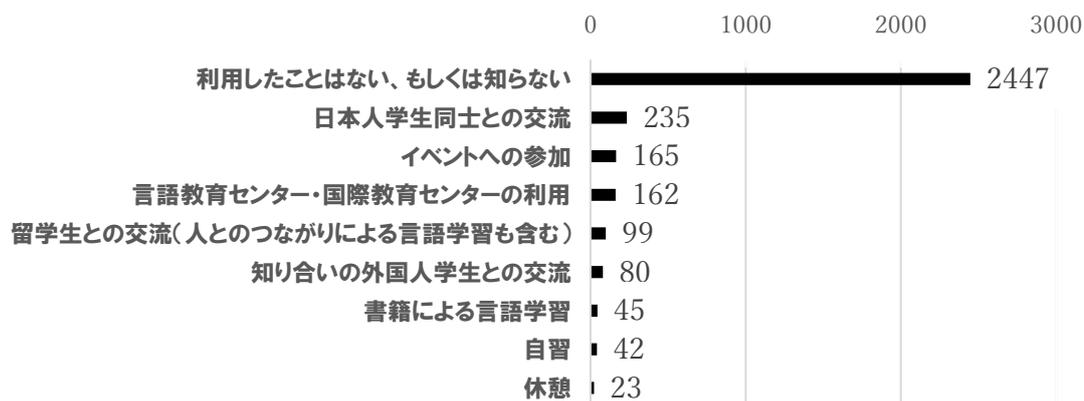


図 17 Q6-1 : BBP の活用方法 (全体)

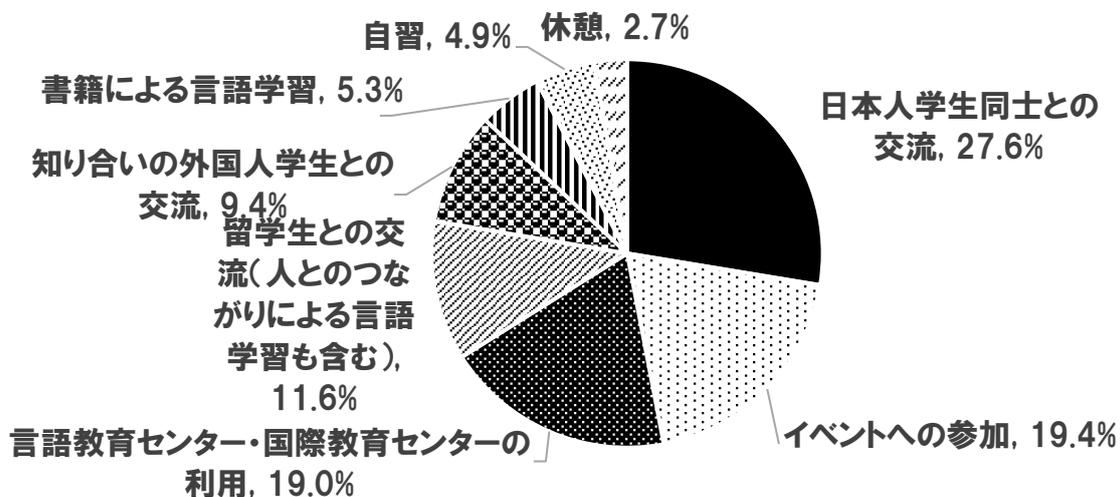


図 18 Q6-1 : BBP 活用方法 (利用者のみ抜粋)

食環境

《質問概要》

Q7-1 : 物品購入における決済方法

Q7-2 : キャンパス内の飲食店舗数と求める店舗形態

《回答集計結果》

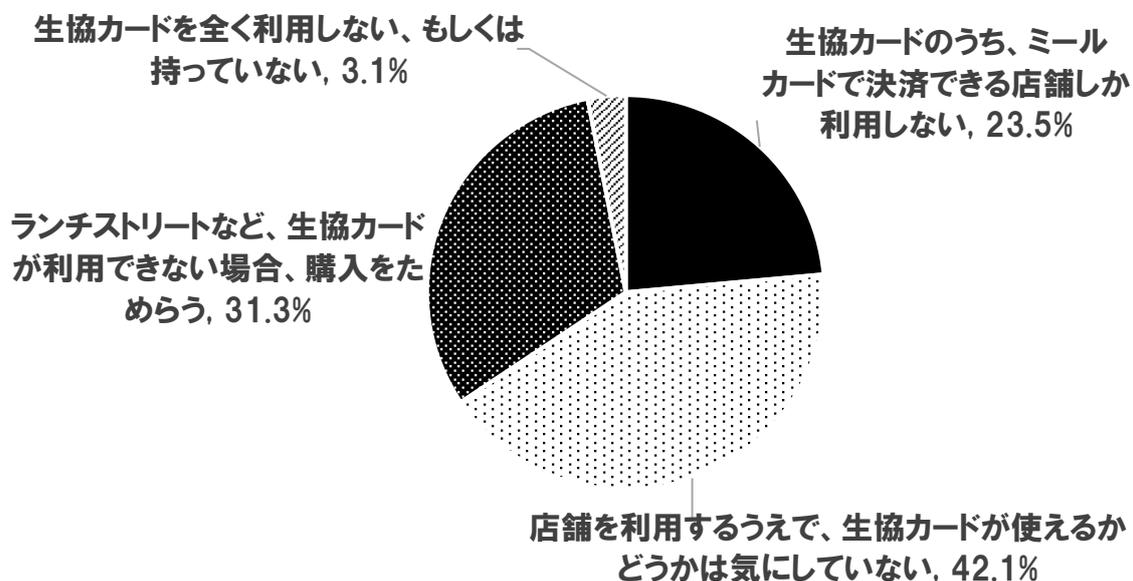


図 19 Q7-1 : 学内での物品購入時の決済方法 (生協カードの位置づけ) 全体

表 11 Q7-1(物品決済) : キャンパス別回答率

		属性(キャンパス)			合計
		KIC	BKC	OIC	
ミール決済のみ	回答数	275	323	136	734
	%	24.4%	20.9%	30.5%	23.5%
カード気にしない	回答数	599	573	139	1311
	%	53.1%	37.2%	31.2%	42.1%
カード気にする	回答数	222	608	146	976
	%	19.7%	39.4%	32.7%	31.3%
全く利用しない	回答数	33	38	25	96
	%	2.9%	2.5%	5.6%	3.1%
合計	回答数	1129	1542	446	3117
	%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

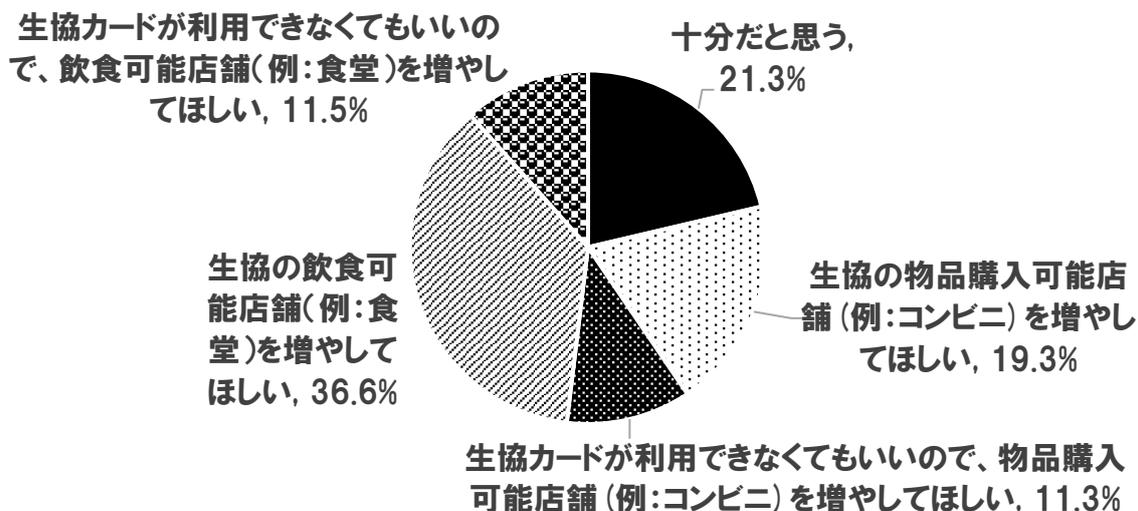


図 20 Q7-2：食環境整備において求めている店舗形態（全体）

表 12 Q7-2(店舗形態)：キャンパス別回答率

		属性(キャンパス)			合計
		KIC	BKC	OIC	
十分	回答数	259	322	83	664
	%	22.9%	20.9%	18.6%	21.3%
生協コンビニ	回答数	246	289	66	601
	%	21.8%	18.7%	14.8%	19.3%
コンビニ	回答数	134	178	41	353
	%	11.9%	11.5%	9.2%	11.3%
生協食堂	回答数	361	588	191	1140
	%	32.0%	38.1%	42.8%	36.6%
飲食店	回答数	129	165	65	359
	%	11.4%	10.7%	14.6%	11.5%
合計	回答数	1129	1542	446	3117
	%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

駐輪場

《質問概要》

Q8-1：駐輪場に屋根がないことに対する印象

Q8-2：前項の回答理由

Q8-3：BKC 駐輪場を第1グラウンド付近に新設した場合の利用希望

Q8-4：前項の回答理由

《回答集計結果》

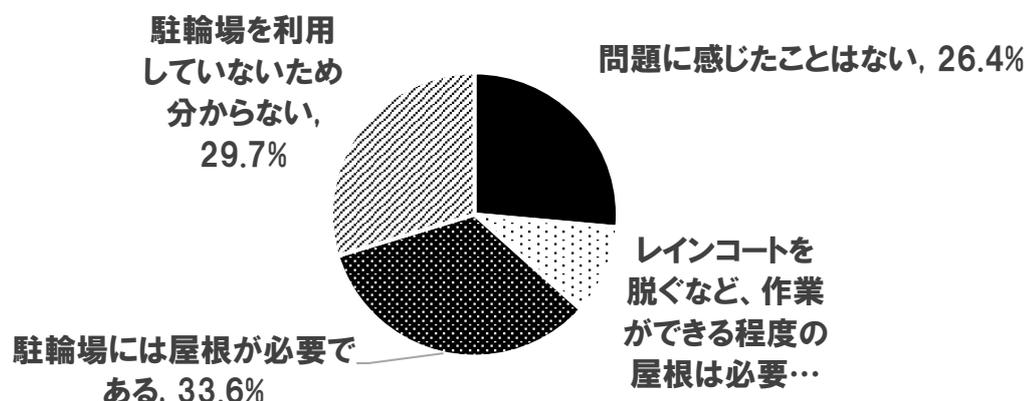


図 21 Q8-1：駐輪場の屋根（全体）

表 13 Q8-1（駐輪場の屋根）：キャンパス別回答率

		属性(キャンパス)			合計
		KIC	BKC	OIC	
問題なし	回答数	240	456	128	824
	%	21.3%	29.6%	28.7%	26.4%
作業スペース程度必要	回答数	108	186	25	319
	%	9.6%	12.1%	5.6%	10.2%
屋根必要	回答数	429	544	75	1048
	%	38.0%	35.3%	16.8%	33.6%
わからない	回答数	352	356	218	926
	%	31.2%	23.1%	48.9%	29.7%
合計	回答数	1129	1542	446	3117
	%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

駐輪場の屋根については、意見は大きく分けて2つみられた。1つが自転車の劣化防止で、もう1つがレインコートの処理である。

劣化防止としては、雨に濡れることによって錆びつくことを懸念する意見があったほか、夏場直射日光に当たる場所に長時間放置することになる点が指摘されていた。

レインコートについては、傘を差さず運転するためには必要なものだが、濡れたレインコートを着たまま教室に入らないようにするためには屋根が必要という意見が多く見られた。

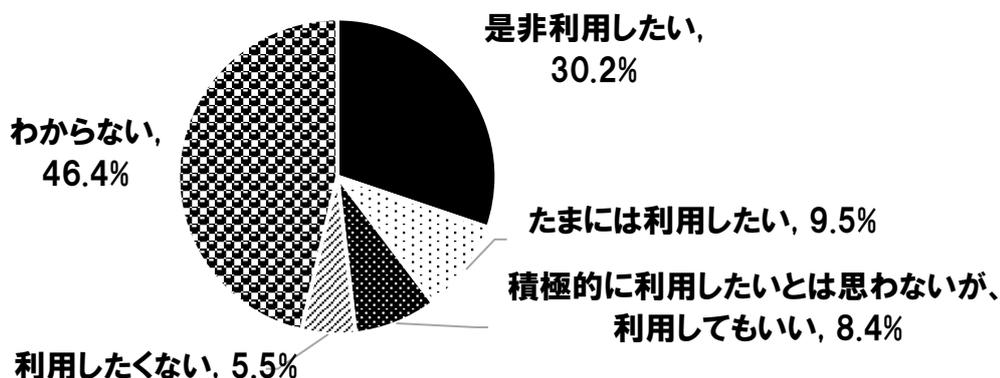


図 22 Q8-3 : BKC 第 1 グランドに駐輪場を整備した場合の利用希望

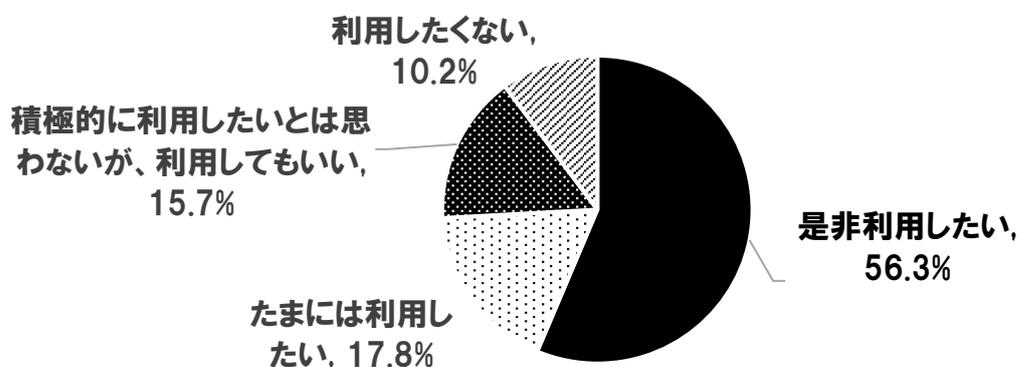


図 23 Q8-3 (BKC 駐輪場利用希望) : 「わからない」 排除

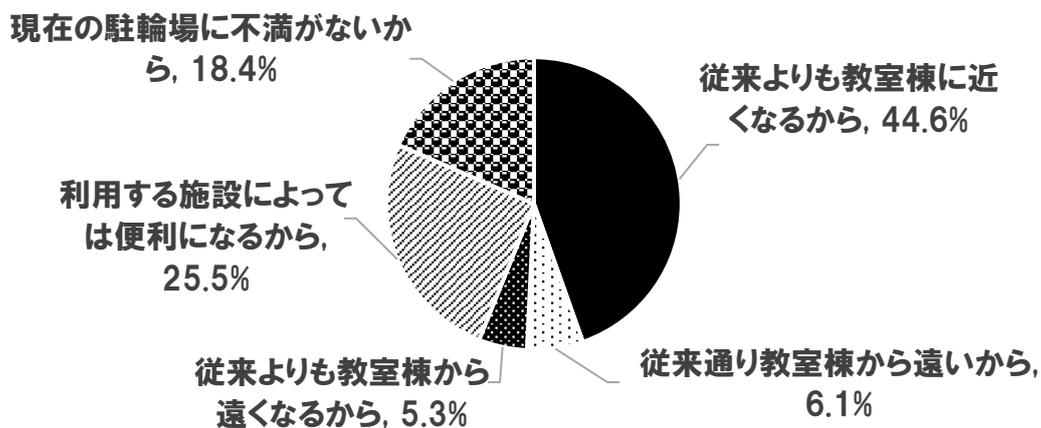


図 24 Q8-4 : 前項回答理由

自習スペース

《質問概要》

Q9-1：大学にある自習スペースは不足していないか

Q9-2：ぴあらに対するイメージ

《回答集計結果》

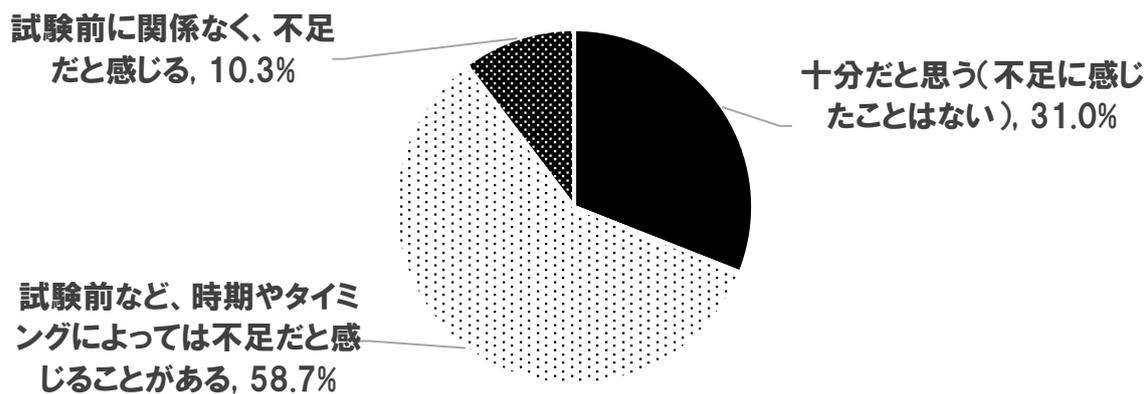


図 25 Q9-1：自習スペース (全体)

表 14 Q9-1 (自習スペース)：キャンパス別回答率

		属性(キャンパス)			合計
		KIC	BKC	OIC	
十分	回答数	313	508	146	967
	%	27.7%	32.9%	32.7%	31.0%
試験前は不足	回答数	718	875	237	1830
	%	63.6%	56.7%	53.1%	58.7%
不足	回答数	98	159	63	320
	%	8.7%	10.3%	14.1%	10.3%
合計	回答数	1129	1542	446	3117
	%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

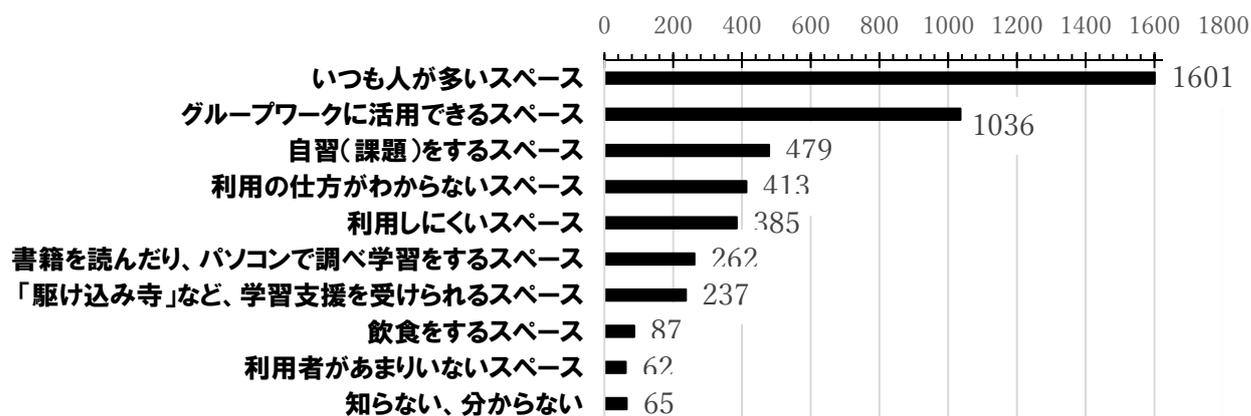


図 26 Q9-2:「ぴあら」に対するイメージ (全体)

表 15 Q9-2 (「ぴあら」イメージ): キャンパス別回答率

	KIC		BKC		OIC	
いつも人が多いスペース	814	1	603	1	809	1
グループワークに活用できるスペース	413	2	440	2	64	5
自習(課題)をするスペース	129	5	270	3	183	3
利用の仕方がわからないスペース	80	6	269	4	43	6
利用しにくいスペース	150	3	192	6	6	9
書籍を読んだり、パソコンで調べ学習をするスペース	141	4	79	7	10	8
「駆け込み寺」など、学習支援を受けられるスペース	9	9	225	5	42	7
飲食をするスペース	45	7	32	10	80	4
利用者があまりいないスペース	9	9	47	8	184	2
知らない、分からない	12	8	44	9	3	10

その他 (自由記述欄)

《回答集計結果》

上記にも挙げられているようなものとしては、食環境改善として学部新設に合わせた食堂増設を求める声や禁煙政策に対する意見が多く見られた。特に禁煙政策については、分煙化を求める意見と罰則規定など取り締まり強化を求めるものなどが見られた。

また、空調に関する意見も多くあり、大講義の教室や体育館や図書館といった教室以外の施設の空調に関する意見が見られた。

さらに、24時間利用できるスペースを望む声も一定数見られ、試験前限定なので、かつ図書館の閉館時間等でもいいので、長時間大学を利用できるようになってほしいという声も一定数見られた。

<Q10-1>自由記述欄抜粋

■複数みられた意見 (3 キャンパス共通)

- ・空調の調節（教室によって同じ設定でも体感が異なるため）
→特に KIC：明学館、研心館、平井嘉一郎記念図書館
OIC：A棟全般（廊下など）、体育館（下記の通り）
- ・避暑できる空間の整備（屋外）
- ・喫煙場所の整備（吸い殻のポイ捨てや隠れた喫煙者の減少につながるため）
※喫煙者に対する処罰を求める意見も見られた
- ・学部増設に合わせたキャンパス整備（主に食環境の改善）
- ・駐輪場の立地の悪さ、スペースが狭い
- ・夜間利用できる施設の設置（閉館時間等の延長）
- ・開館・開室時間の繰り上げ（1限前の対応）
- ・シャトルバスの時間の見直し
- ・食堂の席の不足（荷物などを置くことで、定員数よりも少数しか使えない）

■衣笠キャンパスに特化したもの

- ・パソコンの増設（据え置き型、レンタル両方）
- ・トイレの改築
- ・警備員の対応

■びわこ・くさつキャンパスに特化したもの

- ・食堂の不足
- ・Wi-fi のつながりが悪い

■大阪・いばらきキャンパスに特化したもの

- ・テーブルや椅子の増設
- ・体育館における空調設置

第4章 (参考) 質問文一覧

アンケート本文

タイトル：立命館大学学友会 緊急学生アンケート

<アンケート説明文>

立命館大学学友会では、2018年10月に行う全学協議会に向けて学生の皆さんのご意見を募集いたします。

このアンケートの結果については、今年度以降の全学協議会及び関連する会議等において学生の意見として適宜発信させていただきたいと考えています。

つきましては、下記のアンケートにご協力いただきますようお願いいたします。

なお、全学協議会については、こちらのサイトをご覧ください。

<http://www.ritsumeai.ac.jp/features/zengakkyo/>

※このアンケート調査は無記名で行い、すべて統計的に処理した上で活用しますので、個人が特定されることや他の目的で使用することは一切ありません。個人のプライバシーは、学校法人立命館個人保護規定及び立命館大学学友会個人情報保護に関する規程に基づき、適正に保護します。

※所要時間は5～10分程度です。

Q1-1～Q1-3：基本情報

Q2-1～Q2-8：正課授業における休講・補講について

Q3-1～Q3-3：manaba+Rについて

Q4-1～Q10-1：キャンパス環境について

※1人1回の回答にしてください

※問い合わせ先：info@r-circle.net

立命館大学学友会中央常任委員会

Q1-1) 学生証番号の"上6桁"を入力してください*

Q1-2) あなたの所属学部を教えてください*

1.法学部

2.産業社会学部

3.国際関係学部

4.文学部

5.映像学部

6.経済学部

7.スポーツ健康科学部

8.食マネジメント学部

9.理工学部

10.情報理工学部

11.生命科学部

12.薬学部

13.経営学部

14.政策科学部

15.総合心理学部

2018 年度立命館大学学友会緊急学生アンケート
集計結果報告書

Q2-5) 現在の休講のルールや休講の連絡について、あなたはどのように感じていますか*

- ・現在の運用で問題ない
- ・現在の運用では問題がある

現在のルールに問題があると回答された方へ質問です（それ以外は Q3-1 へ）

Q2-6) 現在の休講のルールや連絡に問題があると感じた理由は何ですか（最近の休講措置によって何か影響を受けたり、話を聞いた場合は、それを教えてください）

Q2-7) あなたが現在の休講のルールや連絡において問題に感じる点はどれですか（該当するものを全て選んでください）*

- ・情報発信が遅い
- ・どこに必要な情報が表示されるのか分からない
- ・公共交通機関の不通による休講基準が厳しい
- ・気象警報や公共交通機関不通以外の休講基準が分からない
- ・臨機応変な対応ができていない
- ・その他

Q2-8) あなたの補講に対する考え方に最も近いものはどれですか。*

- ・定期試験日程や長期休暇の期間が変わるとしても、全ての科目において 15 回の授業が受講ができるようにしてほしい
- ・授業担当者の判断によって補講が自主学習に切り替わり、授業で直接は取り扱っていない内容が成績判定に含まれても致し方ない。（ただし、学習方法などは指定している前提）
- ・補講自体については、現状のルールで問題ないと考える、もしくは気にしたことがない

manaba+R の利用についてお伺いします

Q3-1) 普段、manaba+R へどれくらいログインしますか*

- 1.めったにログインしない
- 2.週 1 回程度
- 3.週 2 回程度
- 4.週の半分くらいはログインしている（週 3~4 回）
- 5.ほぼ毎日ログインしている（週 5~6 回）
- 6.毎日必ずログインしている

Q3-2) 普段 manaba+R にログインして、確認や利用をするものはどれですか（該当するものを全て選んでください）*

- ・新着情報・お知らせ（大学からのお知らせなど）
- ・コースページ（履修授業別のページ・課題提出も含む）
- ・ポートフォリオ
- ・出席カード（授業で指示される場合）
- ・シラバス検索
- ・CAMPUS WEB へのアクセス（進路・就職支援へのアクセスも含む）
- ・利用しない

Q3-3) 現在の manaba+R の運用について、何か意見等があれば教えてください。

キャンパス環境 (所属キャンパス)

キャンパス環境についてお伺いします。ご自身が所属しているキャンパスについてお答えください。

Q4-1 : 総括

Q5-1～Q5-3 : 喫煙問題

Q6-1 : BBP について

Q7-1～Q7-2 : 生協カードと食環境

Q8-1～Q8-4 : 駐輪場について

Q9-1～Q9-2 : 自習スペース

Q10-1 : その他

Q4-1) 次にあげる選択肢のうち、現在、あなたが問題に感じているものを最大2つまで選んでください。*

- ・大学における禁煙政策
- ・飲食可能場所の不足
- ・店舗の不足
- ・駐輪場の不足
- ・駐輪場の設備
- ・駐輪場の立地、開門時間
- ・自習（個人ワーク）を行えるスペースの不足
- ・グループワークを行えるスペースの不足
- ・図書館の蔵書の不足、偏り
- ・その他

Q5-1) 現在のキャンパス内における受動喫煙について、あなたの考えに最も近いものはどれですか*

- ・受動喫煙の影響を大いに受けている
- ・受動喫煙の影響は受けているが、改善傾向にある
- ・受動喫煙について気になったことはない、もしくは特段気にならない

Q5-2) 現在キャンパス内には「卒煙支援エリア」というタバコの火を消すための場所が設置されていますが、この場所について、あなたの考えに最も近いのはどれですか*

- ・場所、数ともに適当である
- ・もっと場所を減らしてほしい（無くしてほしいも含む）
- ・もっと場所を増やしてほしい
- ・数は変えなくてもよいが、場所を変えてほしい
- ・喫煙場所を公式に作ってほしい
- ・卒煙支援エリアを知らない（見たことがない）

2018年度立命館大学学友会緊急学生アンケート
集計結果報告書

Q5-3) 現在の大学が行っているキャンパス内の禁煙政策について、あなたの考えに最も近いのはどれですか*

- ・ さらに厳しい禁煙政策を行ってほしい（不十分である）
- ・ 現状で問題ない
- ・ キャンパス内全面禁煙化には限界があるため、分煙化など規制緩和をしてほしい
- ・ その他

Q6-1) あなたは、BBP (Beyond Borders Plaza)をどのように活用したことがありますか
(該当するものを全て選んでください) *

- ・ 利用したことはない、もしくは知らない
- ・ 日本人学生同士との交流
- ・ 知り合いの外国人学生との交流
- ・ イベントへの参加
- ・ 書籍による言語学習
- ・ 留学生との交流（人とのつながりによる言語学習も含む）
- ・ 言語教育センター・国際教育センターの利用
- ・ その他

Q7-1) あなたは、生協カードの利用についてどのように感じますか*

- ・ 生協カードのうち、ミールカードで決済できる店舗しか利用しない
- ・ 店舗を利用するうえで、生協カードが使えるかどうかは気にしていない
- ・ ランチストリートなど、生協カードが利用できない場合、購入をためらう
- ・ 生協カードを全く利用しない、もしくは持っていない

Q7-2) あなたは、現在のキャンパス内の飲食販売店舗数についてどう思いますか*

- ・ 十分だと思う
- ・ 生協の物品購入可能店舗(例：コンビニ)を増やしてほしい
- ・ 生協カードが利用できなくてもいいので、物品購入可能店舗(例：コンビニ)を増やしてほしい
- ・ 生協の飲食可能店舗（例：食堂）を増やしてほしい
- ・ 生協カードが利用できなくてもいいので、飲食可能店舗（例：食堂）を増やしてほしい

Q8-1) 現在、ほとんどの駐輪場において屋根がない状態となっていますが、このことについてどう思いますか*

- ・ 問題に感じたことはない
- ・ レインコートを脱ぐなど、作業ができる程度の屋根は必要である
- ・ 駐輪場には屋根が必要である
- ・ 駐輪場を利用していないため分からない

Q8-2) 上記のように感じる理由を教えてください

Q8-3) <BKC 駐輪場利用者のみ回答>もし、びわこ・くさつキャンパス第1グラウンド付近に駐輪場ができた場合、利用したいと思いますか。

- ・是非利用したい
- ・たまには利用したい
- ・積極的に利用したいとは思わないが、利用してもいい
- ・利用したくない
- ・わからない

Q8-4) <Q8-3 回答者のみ回答>そのように思う理由は何ですか。

- ・従来よりも教室棟に近くなるから
- ・従来通り教室棟から遠いから
- ・従来よりも教室棟から遠くなるから
- ・利用する施設によっては便利になるから
- ・現在の駐輪場に不満がないから
- ・その他

Q9-1) キャンパス内において、自習をするためのスペースは十分だと感じますか*

- ・十分だと思う (不足に感じたことはない)
- ・試験前など、時期やタイミングによっては不足だと感じることもある
- ・試験前に関係なく、不足だと感じる

Q9-2) 「びあら」に対する、あなたのイメージはどれですか (すべて選択してください)

- ・いつも人が多いスペース
- ・利用者があまりいないスペース
- ・利用しにくいスペース
- ・利用の仕方がわからないスペース
- ・グループワークに活用できるスペース
- ・自習 (課題) をするスペース
- ・飲食をするスペース
- ・書籍を読んだり、パソコンで調べ学習をするスペース
- ・「駆け込み寺」など、学習支援を受けられるスペース
- ・その他

Q10-1) その他、キャンパス内の環境について問題に感じているものがあれば具体的に教えてください。

質問はこれで以上です。最後に必ず「送信」を押してください。